

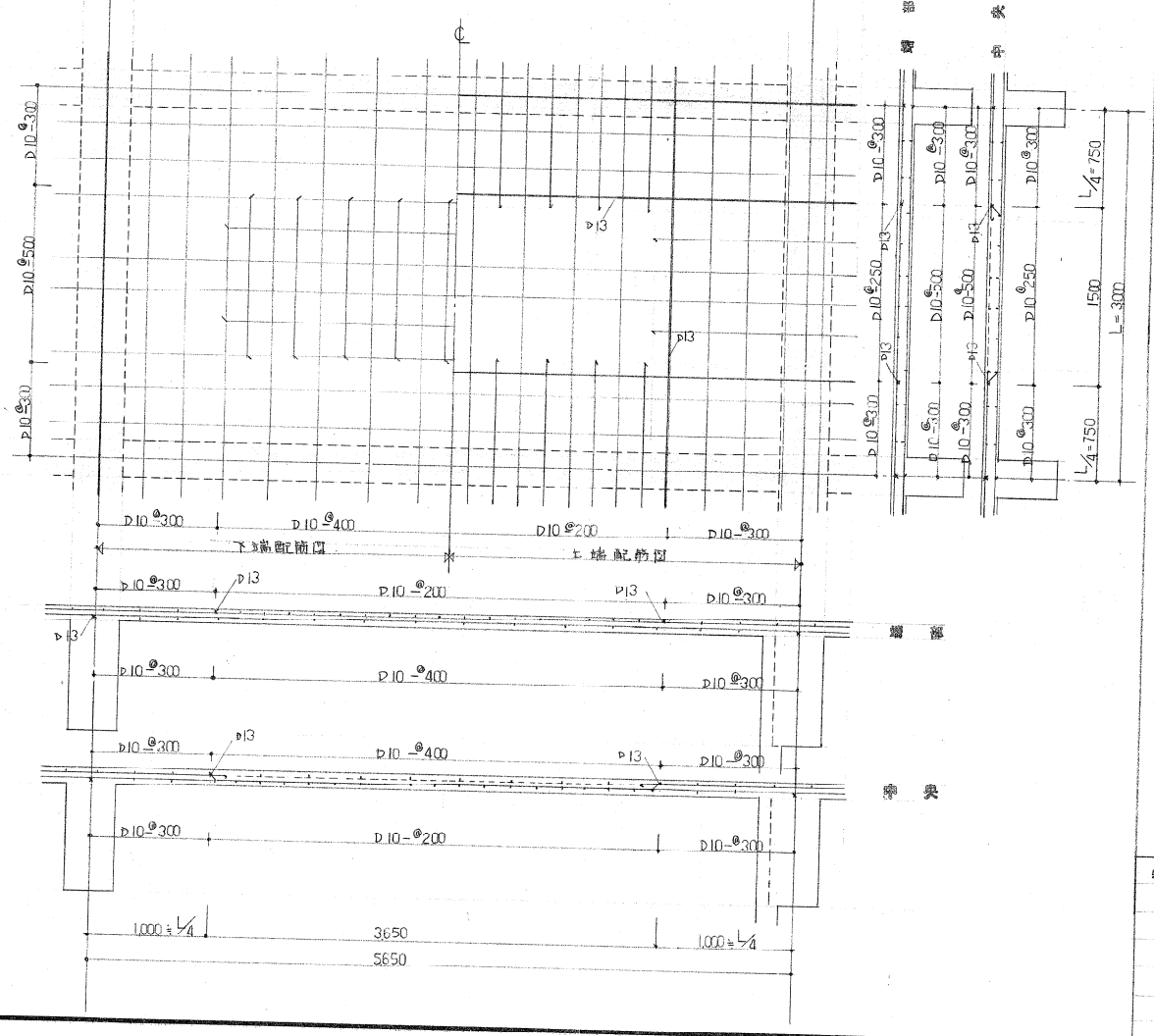
スラブ断面表 1:30

符号	厚み	位置	主筋			配筋			周辺固定	備考
			端部	中央	端部	中央	端部			
S ₁	120	上部	D10-@200	D10-@400	D10-@300	D10-@250	D10-@500	D10-@300	4辺固定	
		下部	D10-@400	D10-@200	D10-@300	D10-@500	D10-@250	D10-@300		
S ₂	120	上部	D13,D10-@200	D10-@400	D10-@300	D10-@250	D10-@500	D10-@300	4辺固定	
		下部	D10-@400	D13,D10-@200	D10-@300	D10-@500	D10-@250	D10-@300		
S ₃	120	上部	D10-@200	-	-	D10-@250	-	-	4辺固定	
		下部	D10-@200	-	-	D10-@250	-	-		
S ₄	120	上部	D13,D10-@200	-	-	D10-@200	-	-	4辺固定	
		下部	D13,D10-@200	-	-	D10-@200	-	-		
S ₅	150	上部	D10-@200	-	D10-@300	D10-@250	-	D10-@300	4辺固定	
		下部	D10-@400	D10-@200	D10-@300	D10-@500	D10-@250	D10-@300		
S ₆	150	上部	D10-@200	-	-	D10-@200	-	-	4辺固定	
		下部	D10-@200	-	-	D10-@200	-	-		
S ₇	150	上部	D13-@150	-	-	D13-@200	-	-	4辺固定	
		下部	D13-@150	-	-	D13-@200	-	-		
S ₈	150	上部	D13,D10-@200	-	-	D10-@250	-	-	4辺固定	
		下部	D13,D10-@200	-	-	D10-@250	-	-		
S ₉	150	上部	D13-@200	-	-	D10-@250	-	-	4辺固定	
		下部	D13-@200	-	-	D10-@250	-	-		

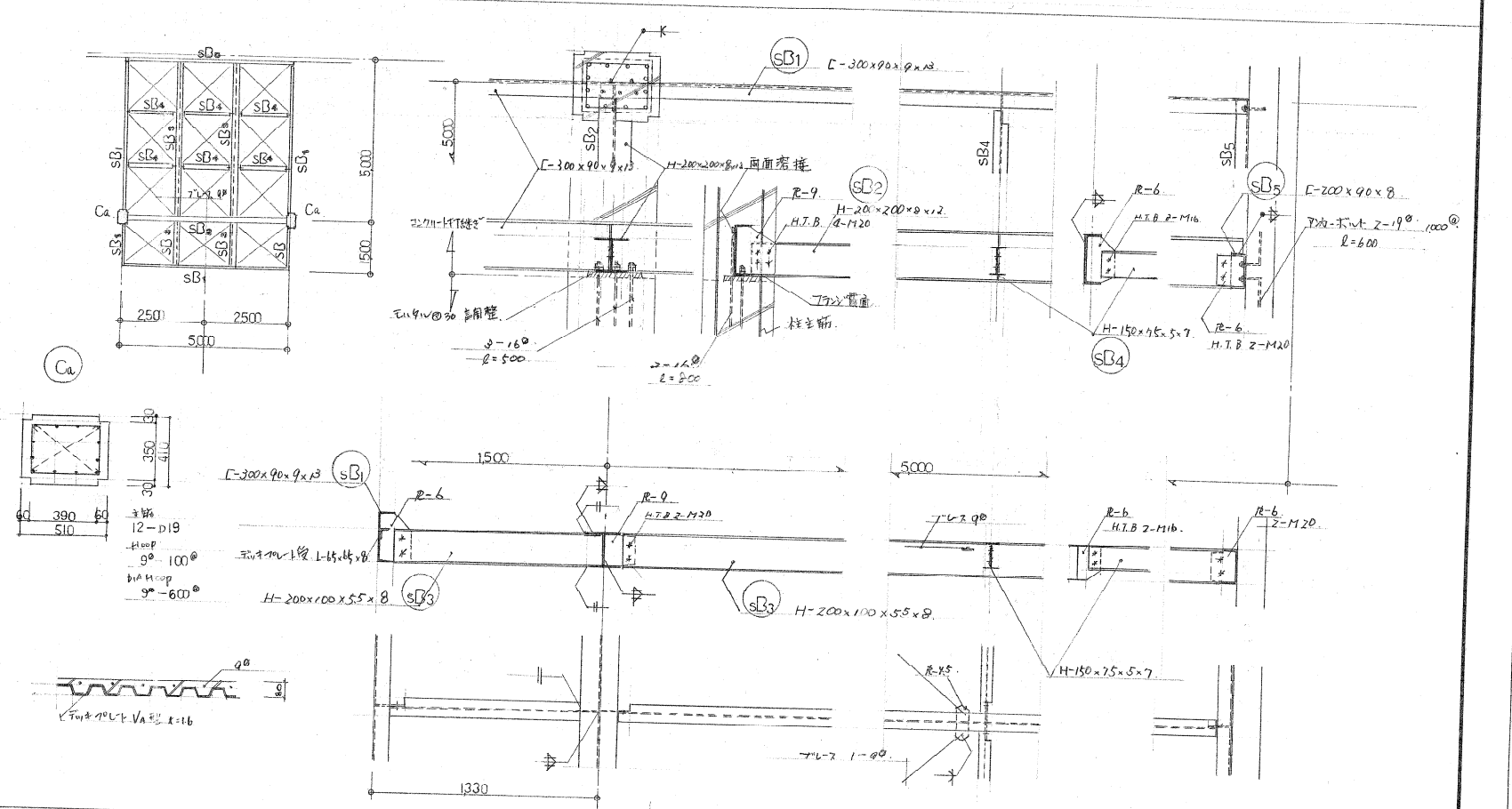
壁断面表 1:30

壁厚	W10	W12	W15	W18	W20	CB10,15	配筋事項
断面							
女子部	9#-@200 シングル	9#-@250 ダブルナドリ	9#-@250 ダブルナドリ	9#-@130 交互-@150 ダブル	9#-@130 交互-@150 ダブル	11#(450)	
開口部	9#-@200 シングル	9#-@250 ダブルナドリ	9#-@250 ダブルナドリ	9#-@200 ダブル	9#-@200 ダブル	9#-@400	
開口部	1-13#	2-13#	2-13#	2-13#	2-13#	9#-@600	
備考	一般底配筋詳細図 1:20						種式ファンセリ壁 配筋詳細図
					埋設型ファンセリ壁 配筋詳細図 1:20		埋設型ファンセリ壁 配筋詳細図
			埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。		埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。		埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。
			埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。		埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。		埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。
			埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。		埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。		埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。
			埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。		埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。		埋設型ファンセリ壁の配筋をここに準ずる。

スラブ配筋詳細図



基礎ボーン鉄筋詳細図 1:100

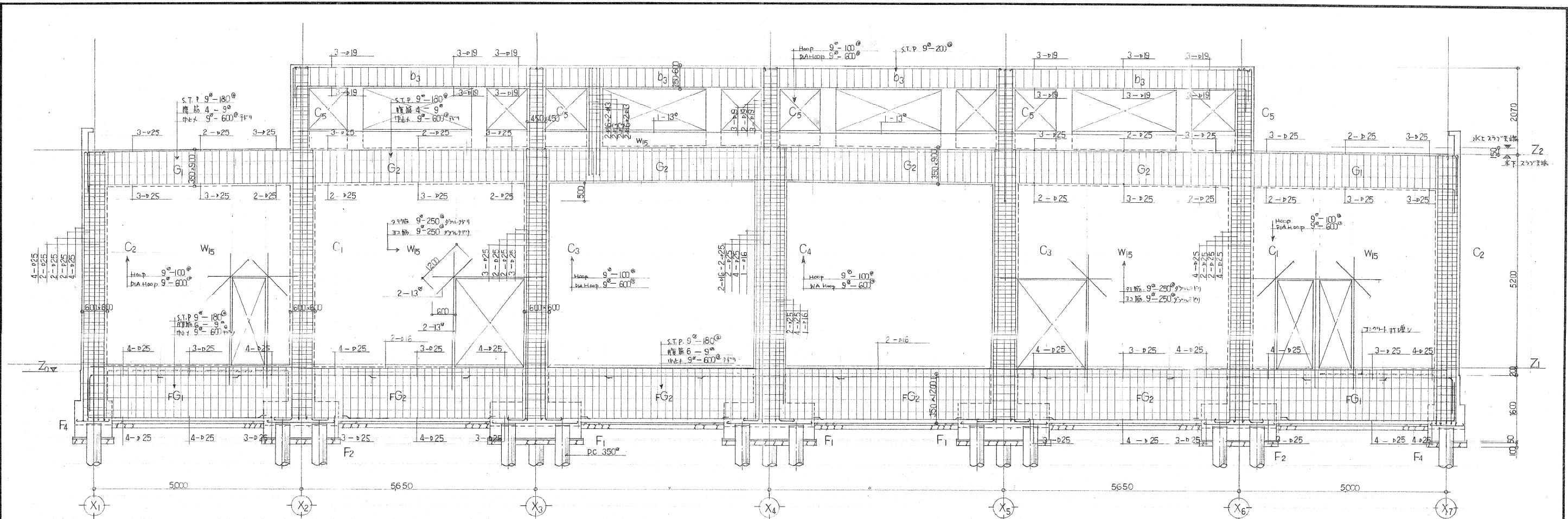


特記なき限り

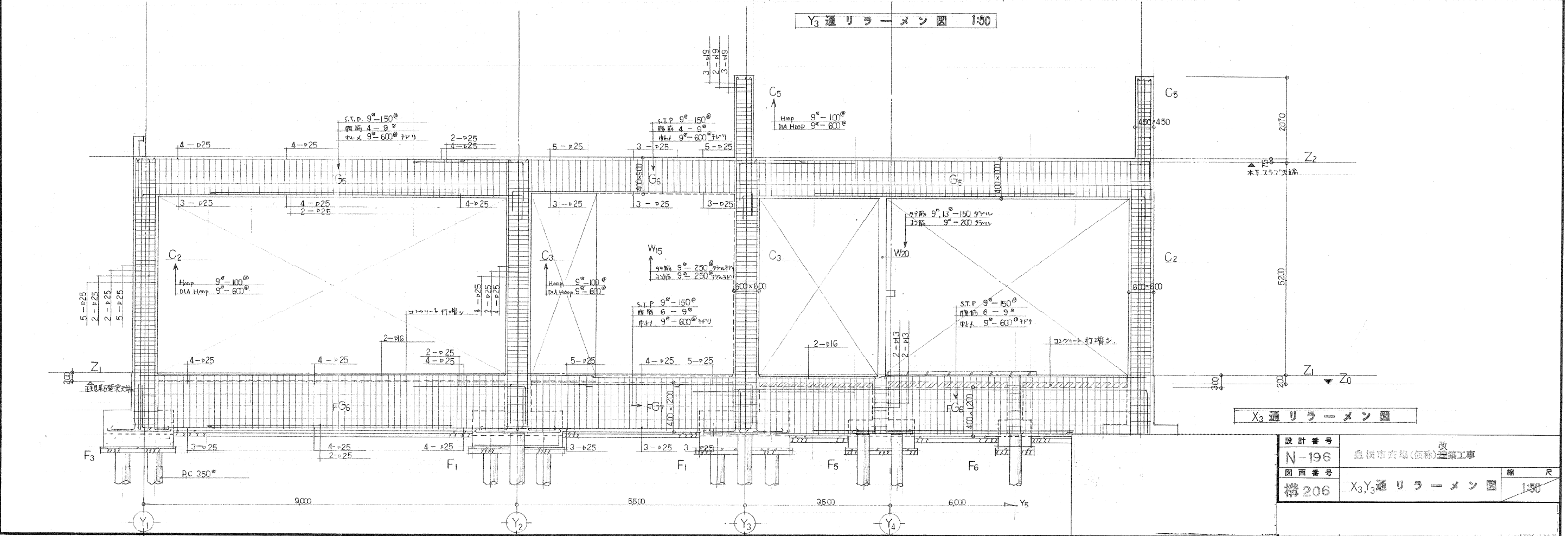
1. 鉄骨 変形 板鉄 ハス41 トル。
2. 高力摩擦ボルト (H.T.B) は F10T. ナットは 汎用ノット。
3. 溶接棒 JIS-Z-3211 / D4301, D4303. 依り規指針トスル。
4. ハス41 鉄骨 S_B は S_B トル。工場製作トスル。

設計番号	N-196	豊橋市市場(仮称)建築工事
図面番号	スラブ壁リスト	縮尺
構205	鉄筋詳細図	1:30 1:20

※本資料は、昭和50年時点の図面であり、その後の改築等により、現施設とは整合しないことに留意すること。



Y3通りラーメン図 1:50



X3通りラーメン図

設計番号	N-196	豊樹市青島(仮称)出業工事	縮尺
図面番号	構206	X3,Y3通りラーメン図	1:50

鉄筋の標準幅と厚さ

構造物の種類	種類	標準幅と厚さ (mm)
床スラブ	一般	20 t(30)
	柱梁壁基礎スラブの上側	30 t(40)
床スラブ柱梁壁の直結部に接する面		30 + (20)
基礎基礎スラブの下側 (柱マウントは除く)		60
煙突 (鉄立煙突を除く)		50

注) 1 鉄筋厚さは鉄外側鉄筋面からの寸法とする。
2 () 内の数字は断面表記入寸法に別に加算すべき寸法を示す。
3 t() 内は、入口軽量コンクリート部分で寸法を t() の場合を示す。

鉄筋の曲げ半径と折曲げ要領

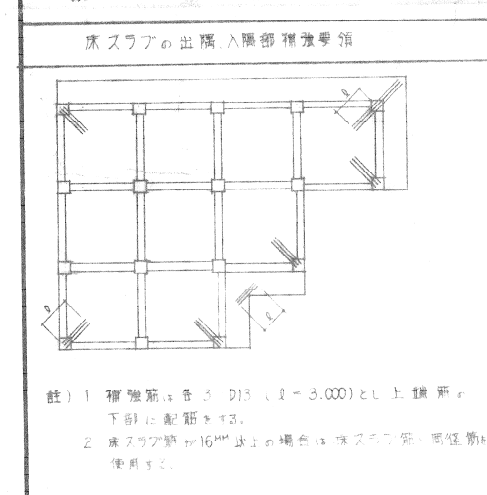
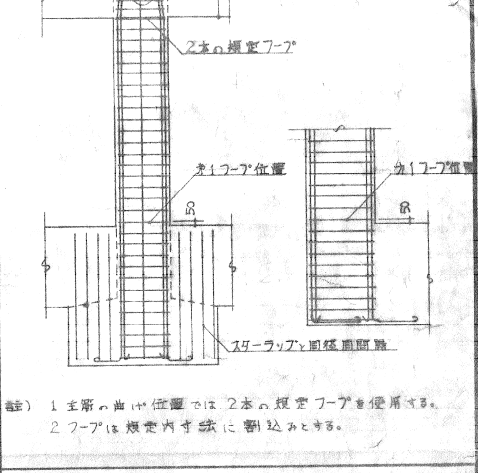
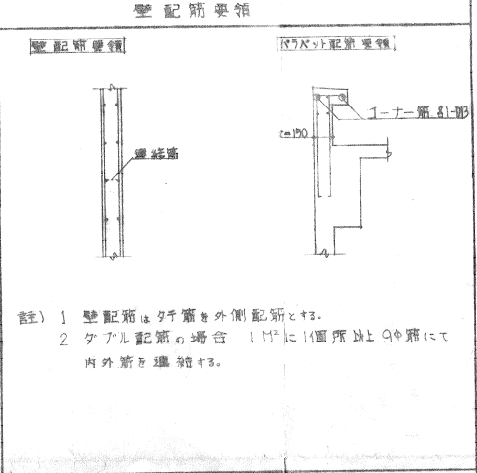
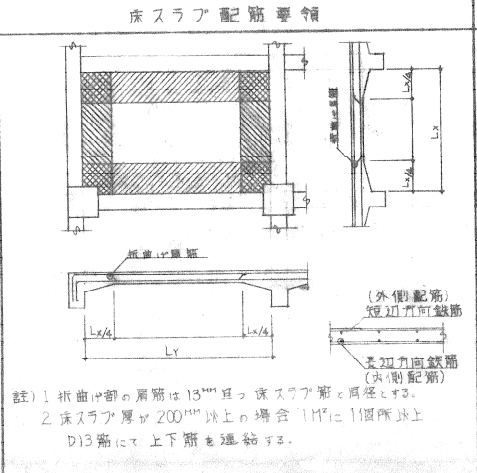
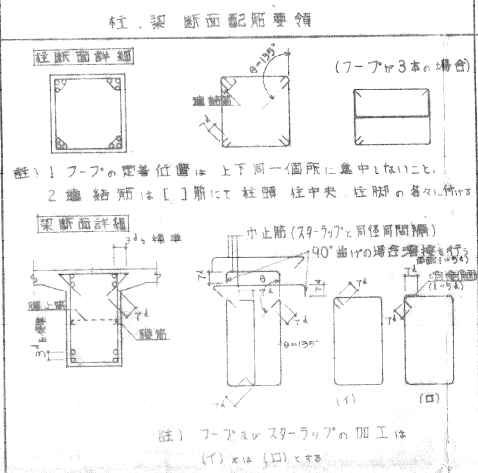
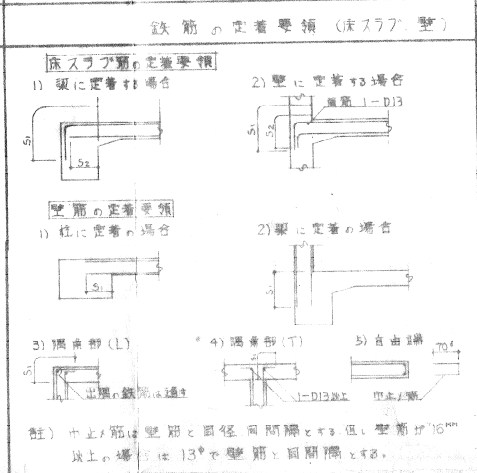
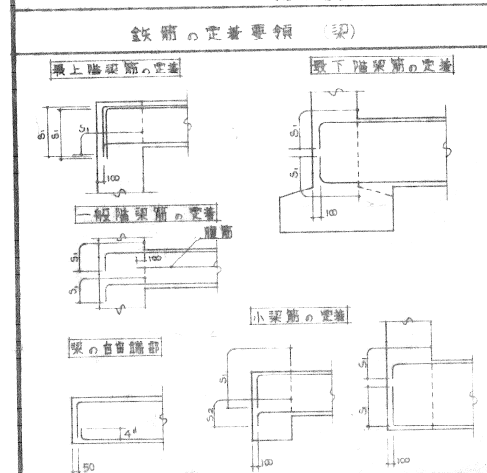
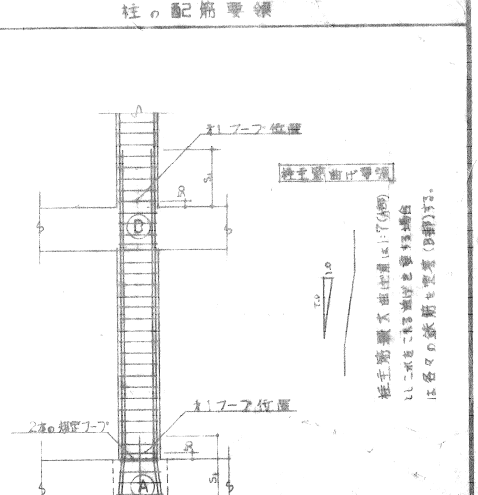
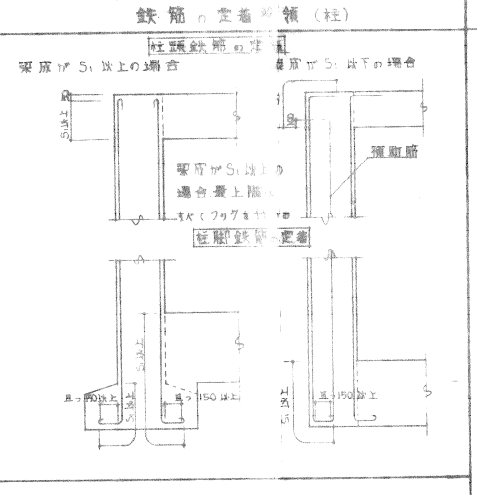
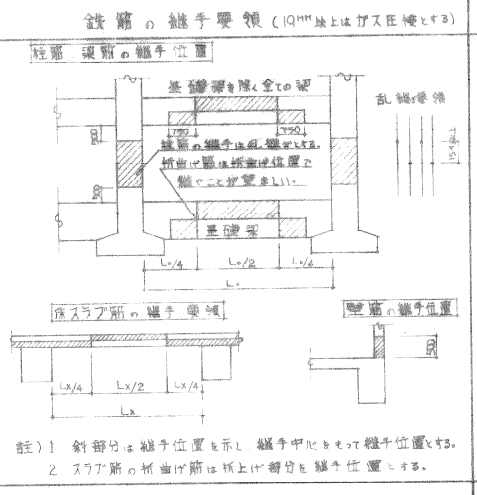
箇所	鉄筋種類	折曲げ要領
太鉄筋	SR.24	(1) 曲げ半径 180° の場合 (柱梁の主筋等)
	SD.24	
	SD.30	(2) 曲げ半径 90° の場合 (梁の支筋等)
中間筋	SD.35	(1) 曲げ半径 135° の場合 (梁の Y 筋等)
	SD.40	
	その他	(2) 曲げ半径 90° の場合 (柱梁の主筋等)

注) 10mm 以上の鉄筋の折曲げ半径は (D) x (1) に依る。

鉄筋の定着と継手長さ

定着と継手の条件	定着長さ (mm)	継手長さ (mm)
5D.30	7d	30d
5D.35	7d	30d
5D.40	7d	30d

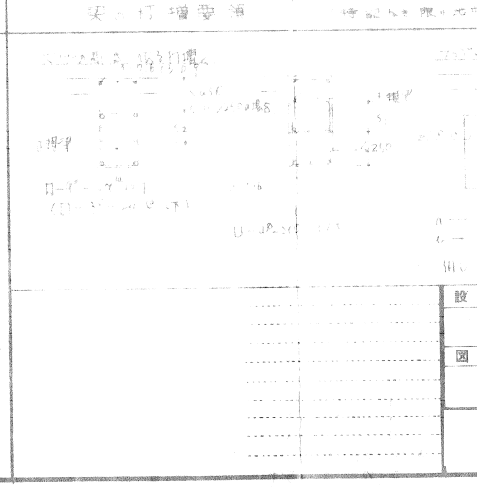
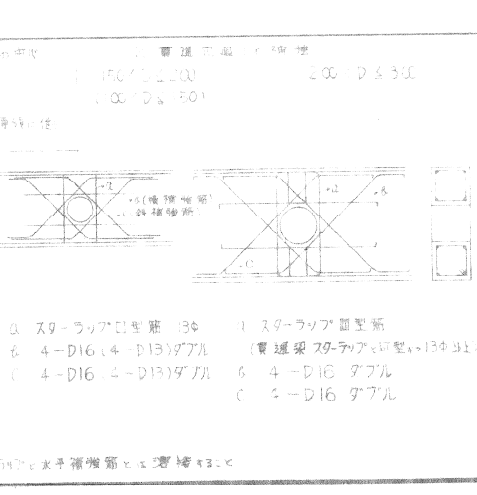
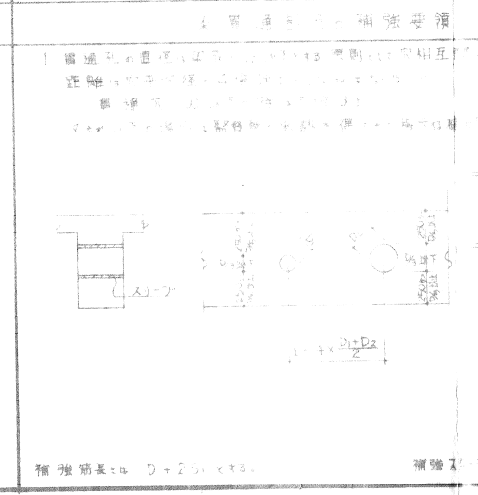
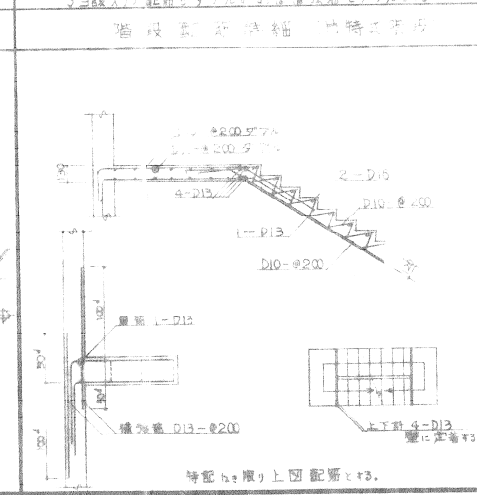
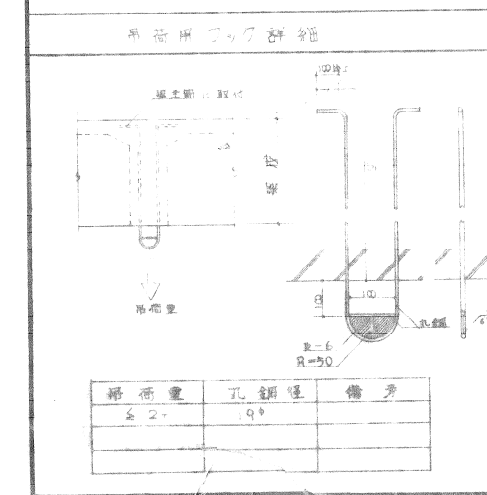
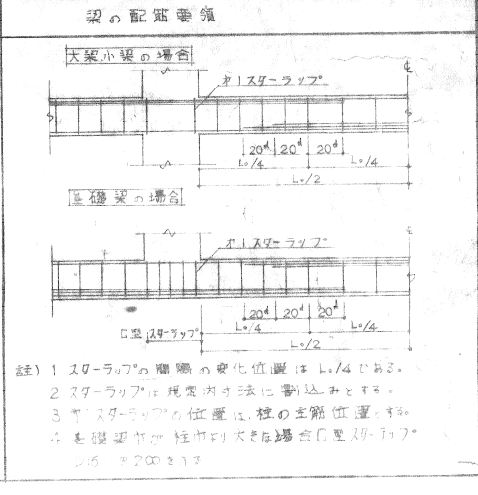
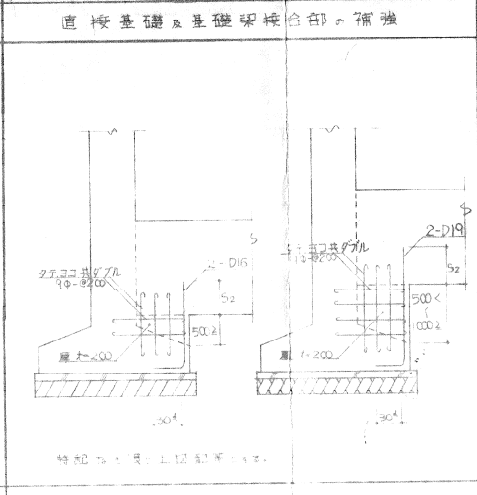
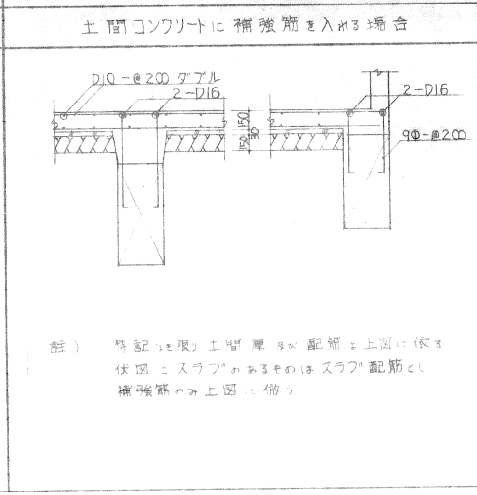
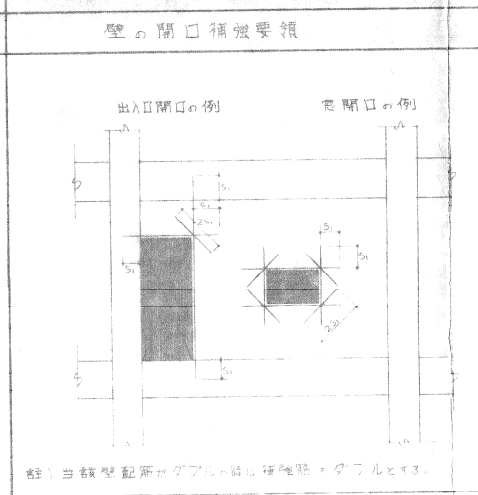
注) 1 d は鉄筋の公称直径に依る () 内の数字は JIS の場合を示す。
2 梁の隅角部鉄筋の継手長さは鉄筋の径に依る。
3 梁の隅角部鉄筋の定着長さは下配に依る () 内の数字は JIS の場合を示す。
4 煙突の主筋
5 柱梁の主筋の先端部



床スラブの開口補強要領

開口サイズ	長辺開口補強筋	斜補強筋
200x200 < A < 400x400	2 - D13	1 - D13
400x400 < A < 800x500	4 - D13	1 - D13

注) 1 長辺開口補強筋は、梁内に 5φ 定着する。
2 斜補強筋は、床スラブ厚が 160mm 以上の場合は、床スラブの高低差に使用す。
3 斜補強筋は、鉄筋 D13、寸法は、床スラブ厚が 160mm 以上の場合は、床スラブの高低差に使用す。

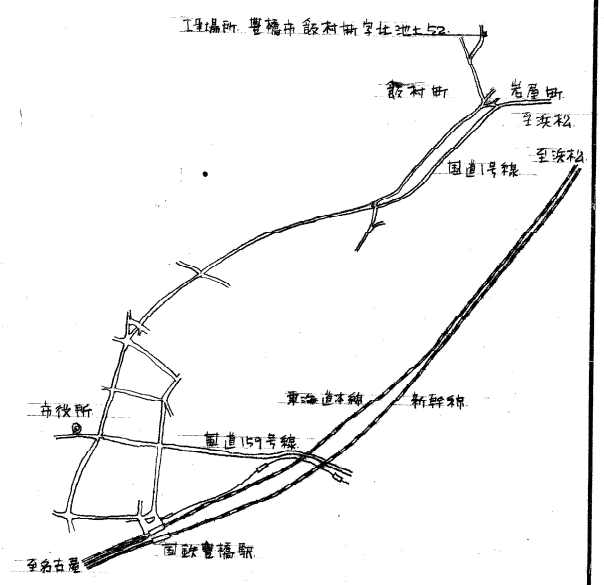
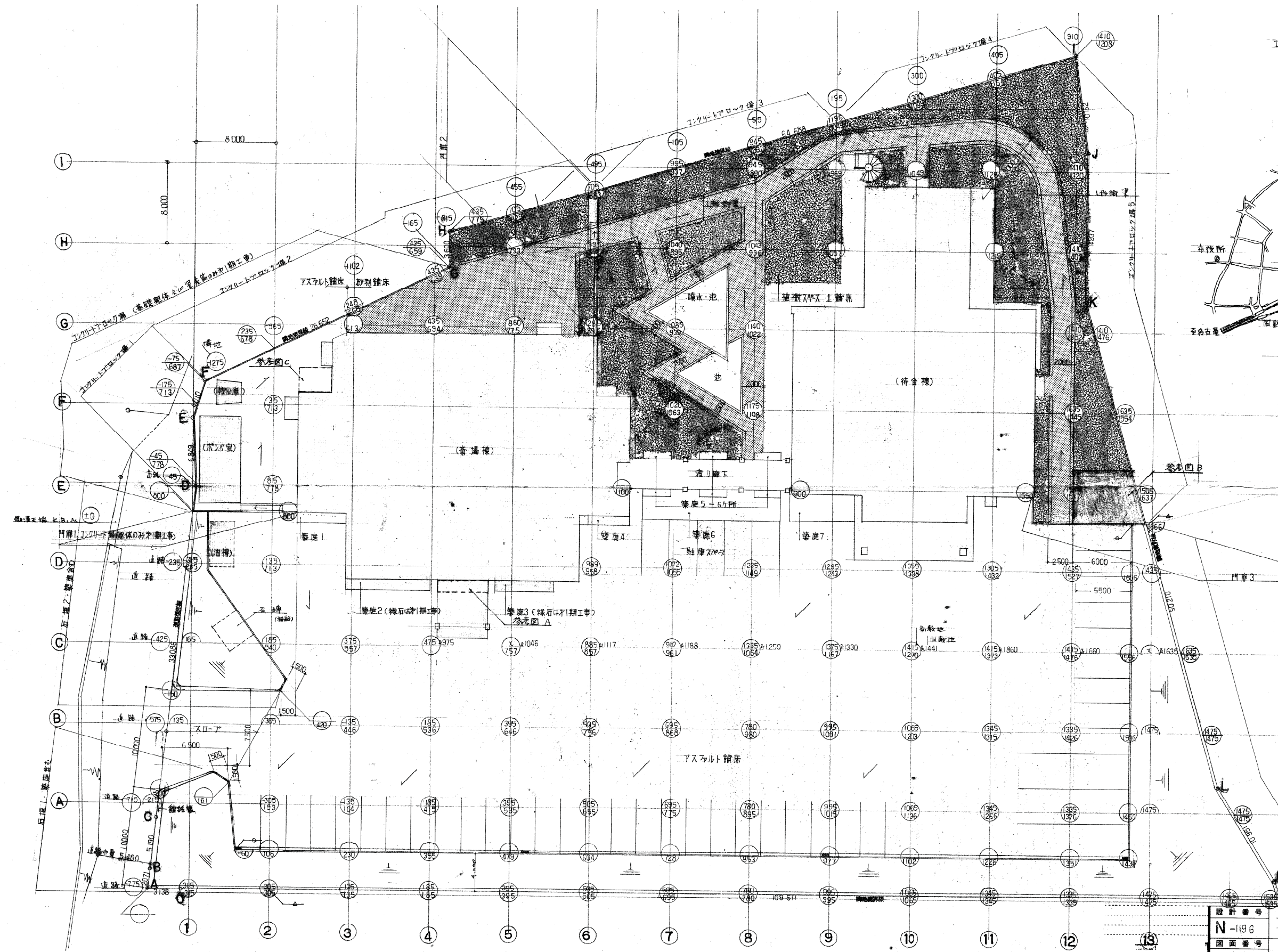


設計番号

図面番号

設計事項

縮尺



附近見取図

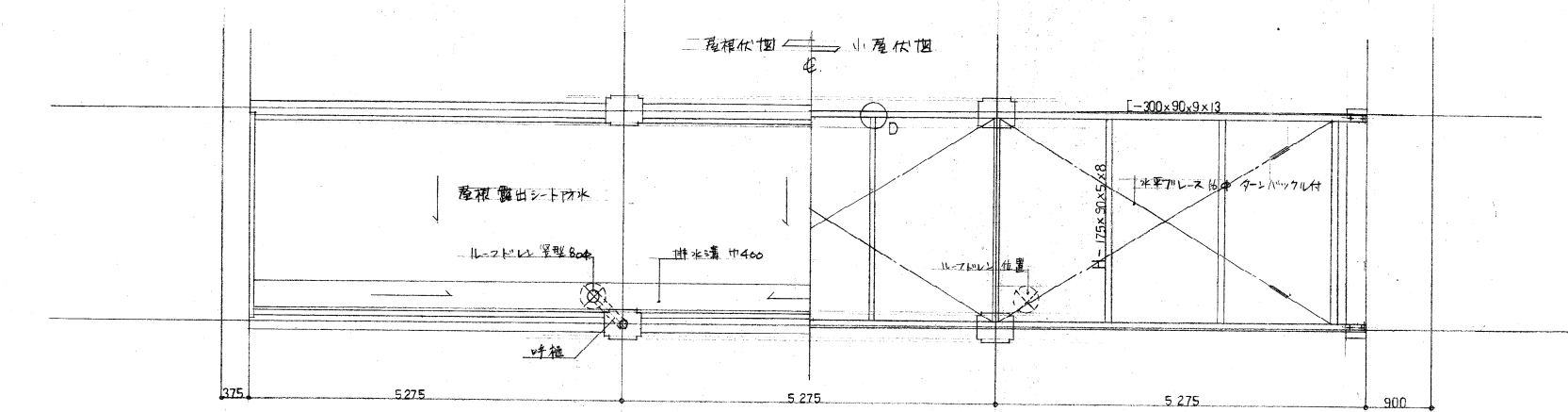
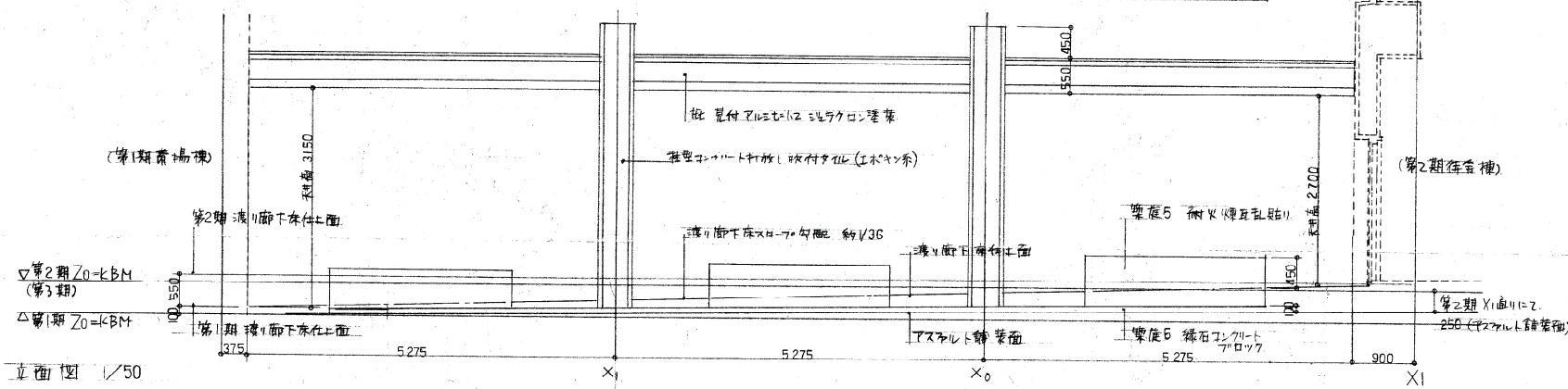
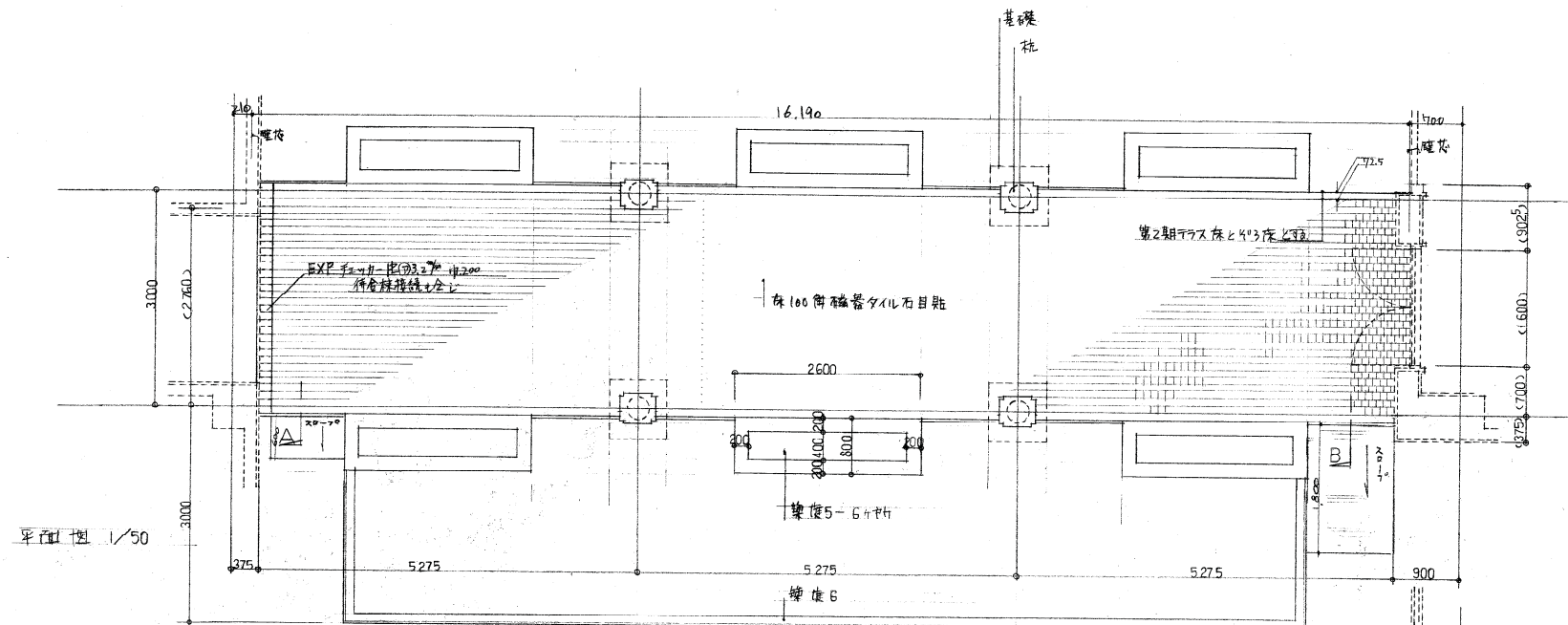
- 凡例 一般事項
1. 土俵内現状地盤面、下被り部存在工事
 a. 敷地番号
 b. 新敷地現状地盤面
 c. 旧敷地現状地盤面 (新旧敷地境界)
 2. アスファルト舗床地盤面、及び種樹アス
 土舗床地盤面は $K \cdot G \cdot L + 200$ 砂利
 舗床面地盤面は $K \cdot G \cdot L + 100$ の数字を以
 四面 $\Delta 0.106$ 等間。
 3. 格子状の設定敷地幅 700 mm 等間、
 符号種別、出入口部分、併に各階及び
 部分内局所的な勾配を以て 3 等
 4. 場合 $1/10$ 以下の勾配と 2 等
 5. () 内は現設建築物等

配置図

設計番号	N-1196	豊橋市商埠(仮称)渡川町下新築及外構整備
図面番号	101	附近見取図・配置図
縮尺	1/200	

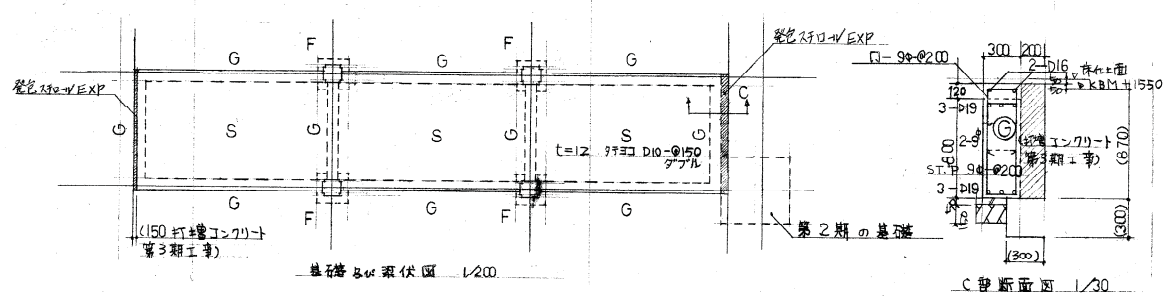
特記仕様書		4 章 地業工事		8 章 エコフレックブル加工工事		19-5 竣工区
工事名称	豊橋市斎場(仮称)渡り廊下及外構整備工事	4-1 杭材料	本工事に使用する杭はJIS A 5310 に示すRC杭とす。先端閉塞型とす。	8-1 フレックブルの種類	JIS規格品 (JIS A 5406) B種とす。	工事完了後下記の保固を作成し提出す。 1) 敷地平面図 1/500 2) 縦横断面図 $V = \frac{1}{1000}$ $H = \frac{1}{1000}$ 3) その他 監督員の指示する図面
工事場所	豊橋市飯所新築地E 52	4-2 杭設計図面	図面104冊参照又は杭位置杭本数については左記参照のとす。	8-2 フレックブルの種類	渡り廊下部分集積 5 耐火レナ 見本品提出の上 監督員の指示にす。 (杭工費耐火レナ JIS R 2304-1955)	ただし、1) 敷地平面図は監督員の許可と縦横断面図は別途提出す。 JIS B 55 標準 建築 重文字入 2部提出す。
工事概要	地区地域 未指定地域 市街化調整区域、防火指定なし、その他なし 敷地面積 6,768.61㎡ 工事概要 渡り廊下 RC+S造 平家建 延べ面積 48.27㎡ 外構工事 1式	4-3 杭打工法	7.6m以上の工法とし、その長さは掘削地盤より約4,000とす。但し、監督員と充分協議の上、その指示にす。	9-1 アスベスト材料シート防水	[アスベスト] 耐水工率協同組合 昭和石油アスベスト(昭和) 4種(国産品以上) 池平場 呼称 B1-C、立上り 呼称 V1-B 保証15年、20年以上 元請施工者 防水工事施工者 連名にて保証書提出すこと。保証期間 10年以上	21 章 埋設工事 21-2-4 補償規定 補償期間は引渡しの日より1年とする。但し、口部及び指定の日以外の埋設については補償無用。
建築工事仕様	図面及び特記仕様書に記載なき事項は全て建設大臣官庁官庁管轄部制定建築工事共通仕様書(昭和48年度版)にす。	5-1 鋼 鉄	加工及組立ては構造配筋詳細図に註記事項参照の事。その他は建設省建築工事共通仕様書48年度版による。	9-2 エーキング	渡り廊下と併存棟との接合部はアクリル系10x10、アスベスト耐火レナ部分アスベストコーキング、その他の部分油溶性エーキング	
	1 章 一般共通事項	5-2 鋼 筋	1) 普通鉄筋はJIS G 3112のSR24規格品とす。 2) 異型鉄筋は D16以下はJIS G 3112のSD35規格品とす。D19以上のものはJIS G 3112のSD35規格品とす。	10 章 石 工 事		
	1. 建築材料製造所等：建築材料の製造所、商品、施工業者等は保証書に示すものを参照しとす。	5-3 カス圧接	鉄筋径D19以上の鉄筋の継手はカス圧接とす。	10-1	噴水池 不圧不地 花崗岩 氷床	
	2. 現場：監督員の指示により施工図、理士図等を作成し承認と受ける。	5-4 在 接 工	カス圧接の資格は日本圧接協会 NAK3種以上とす。	11 章 タイル工事		
	3. 竣工図提出書類 工事写真、各試験データ、日報等	5-5 貫通補強筋	梁貫通、床開口、壁開口の補強筋は全て建築工事とす。設備管等及び監督員と充分協議の事。	11-1	渡り廊下床 磁器蓋100角タイル(目地朱) 噴水池 内部 磁器モザイクタイル 19%中	22 章 雑 工 事 22-1 敷地境界石埋
	4. 電気料金：受電から建物引渡しまでの電気料金は各施工業者の負担とす。	6-1 レーザーストコングリート	1) 種別はI類ーJIS A 5308 (レーザーストコングリート)のJIS承認工場にて製造されたコングリートとす。 2) JIS A 5308 に示すA種とす。	13 章 屋根タイル工事		
	5. 工期：工期は、着工後、検査完了出来る日付を以てし、留電等による遅延は、監督員と充分協議の上、その指示にす。	6-2 設計基準参照	コングリートの種類 使用区分 設計基準参照 比 重 $\frac{kg}{m^3}$ 普通コングリート 基礎部分 210 2.3 21.0 普通コングリート 一般躯体 210 2.3 21.0 軽量コングリート 吹き付け 210 2.3 21.0	13-1	視覚値の管理のみ 準則 20-200	
2-1 仮囲い	仮囲い下 保安上必要と認めらるる箇所とし、掘削後速速に掘削防護をす。	7-1 製作工場	鉄骨加工業者は建設省告示第120号に示す資格規程に適合し、且つ下記の能力を有する加工工場とす。保有するものうち5名以上とす。 協会の工決定す。 1) 日産加工能力 300Tn以上 (最近1年間の平均) 2) 溶接工数(有資格者) 3H 2名以上、20 3名以上	15-1 タイル状磁器		
2-2 復旧計画	15冊以内とす。耐用電話設置	7-2 材料の規定	1) 品名 (鉄) 鋼材の規格証明書を鋼材加工前に提出すこと。鋼材、型鋼 …… S541 JIS規格品。 軽量型鋼 …… S541 JIS規格品。	15-2 鋼骨パイプの種 別		
2-3 工事用看板	工事名称、設計者、監理者、施工業者を記載し、14冊掲げとす。	7-3 溶接工事	溶接工はJIS 23801の内本工事に必要な種目の試験に合格した者、監督員に書類を提出し、承認を得ること。	17 章 塗装工事		
2-4 工事用電力取費	工事用電力、用水費、及びその他は本工事に含める。	7-2 溶接工事	図面 図 特記事項参照	17-1 鉄骨部F-12		
2-5 仮囲い	工事に先立ち仮設計書を提出す。	7-3 その他		17-2 鋼骨パイプの種 別		
2-6 公衆目録	第三者からの苦情の申出があった時は、その内容について監督員に連絡し、必要に該業者の責任において迅速な対応を講ずる。当該苦情の解決が、当該業者の破産等とある場合は、その旨を監督員に報告す。	7-2 溶接工事		19 章 舗装工事		
2-7 ベンチマーク	ベンチマーク(K.B.M)は、北側直線樹端(配管(図参照)とす。 Z ₀ = (K.B.M + 1.300) - 200 - K.G.L = 建築前の設計地盤高。	7-2 溶接工事		19-1 路 床		
		7-2 溶接工事		19-2 路 盤		
		7-2 溶接工事		19-3 加熱式アスベスト舗装		
		7-2 溶接工事		19-4 工事報告		
3-1 根切り	根切りは、先立ち、30-100の布留を行なう。杭打後に適切な根切りを行なす。					
3-2 埋戻し	直土又は根切土のうすを敷き、埋戻しを行なす。					
3-3 残土処分	残土を運搬す。					

設計番号	N-196 豊橋市斎場(仮称)渡り廊下新築及外構整備工事	
図面番号	102	特記仕様書
縮 尺		



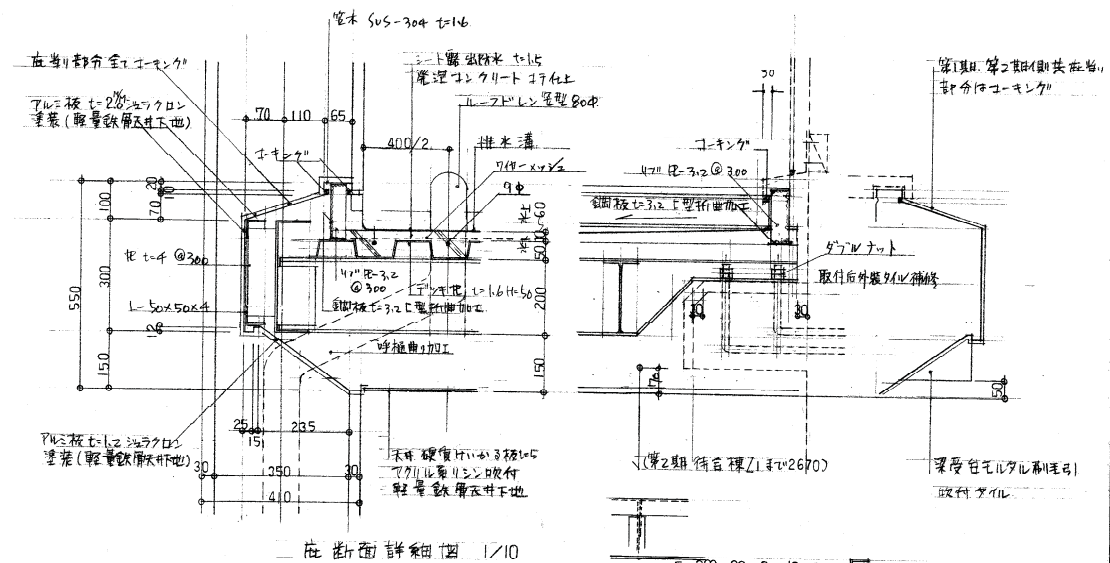
屋根及小屋伏図 1/50

特記なき限り下記とする。
 コンクリート設計強度 210 N/mm²
 鉄筋 丸鋼 SR-24
 鉄筋 異型丸鋼 SD-35 (D19以上)
 鉄筋 異型丸鋼 SD-30 (D10~D16)
 FG鉄 300 φ L=10,000 N=4本
 粘耐力(長期) 23 T/EA

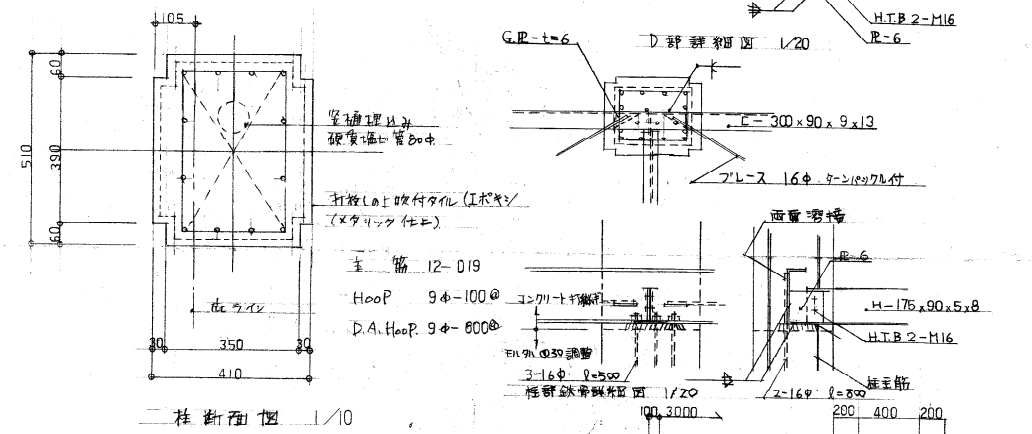


基礎柱の伏図 1/20

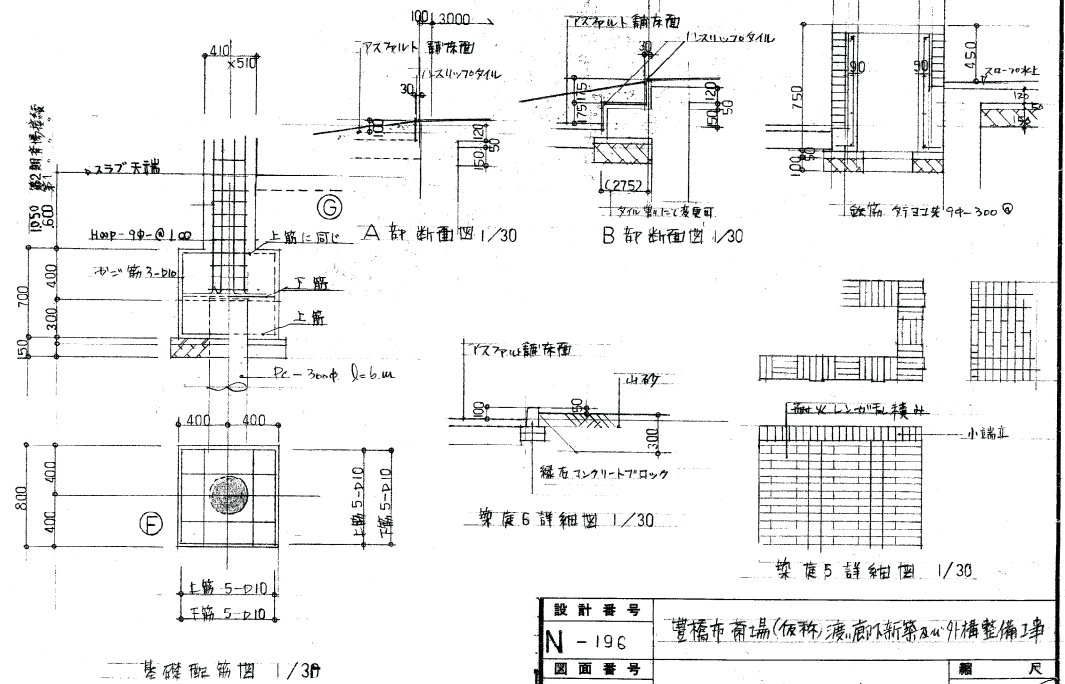
C部断面図 1/30



在断面詳細図 1/10



二柱断面図 1/10



基礎断面図 1/30

設計番号	N-196	豊橋市有瑞(仮称)渡戸新築及外構整備工事	縮尺	1/50
図面番号	104	詳細図(渡り廊下)	縮尺	20/10